

Rotary Yachiyo



2022-23 年度国際ロータリーテーマ

「イマジン ローターリー」

2022-23 年度クラブテーマ

「ロータリーを学び、語り、

奉仕を実践していこう。"Think"」

週 報 第 2 6 8 5 回

2023 年 1 月 27 日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

今回例会行事

担 当：クラブ奉仕委員会

テーマ：クラブ奉仕について

卓話者：杉山智基会員

次回例会 2 月 3 日

担 当：プログラム委員会

テーマ：ガラパゴス諸島

卓話者：小村昌三会員

◆◆◆第2684例会◆◆◆

司会 中島貞好

「それでこそロータリー」

お客様

RLI 推進委員長 周藤行則様

副会長挨拶 副会長飯生高一郎

皆さん、こんにちは。
今月は職業奉仕月間です。私は職業奉仕について勉強しておりますので話したい事が沢山あります。Rの友に様々な事が書かれていますので、ご覧頂くのが良いと思いましたが今年は掲載が無く、ガバナー月信にありました。RIの考え方が変わってきており、社会奉仕を改正する文脈で職業奉仕を紹介しています。ここ5～6年の傾向だと思います。昔と今を比較出来れば良いと思いますが、私は昔の職業奉仕に対する考え方が適切であると思っていますので、勉強して頂ければと思います。今、RLIは地区で開始して10年程たっていると思います。本日は周藤様のお話を聞いて、興味ある方は研究会にご参加頂ければと思います。

幹事報告

幹事 中村賢治

- ・杉会長は検査入院の為お休みです。
- ・新入会員伺いについて異議がありませんでしたので取り進めます。
- ・下期分の会費納入をお願い致します。

委員会報告

プロジェクトY委員会

中村賢治

今年度の夢教室は対面での実施となり、ロー

タリオンも参加可能となりました。資料を回覧しますので参加可否をご記入下さい。

R 財団 奨学生カウンセラー

君塚欣哉

松井智世さんから11月分のレポートが届きましたのでご紹介します。

皆様こんにちは。早いもので渡来して約4カ月が経過しようとしております。ミシガンはすっかり秋模様で肌寒い毎日です。10月初旬 Ann Arbor RC主催の留学生交流会が開催されました。長崎RCから留学されている医師の賀来先生も参加されました。クラブ活動として、JapanBusinessAssociationに参加して日本の文化、ビジネスをアメリカ人や留学生に紹介しています。Taste Ross というイベントに参加して日本の食事をミシガン大学の学生に振る舞い、各国の留学生と交流をしました。ミシガン大学には約60年間続く日本語学科があります。Ann Arborでは日本人の数も多くなく、学生が日本語を練習できる機会も限られる為、ボランティア活動として日本語を教えています。皆さん一生懸命に日本語や日本の文化について学んでいらっしゃる、嬉しい気持ちになります。また同時に日本人の模範となれるように気の引き締まる思いです。10/10～14は期末試験で、無事にすべての試験を受け、修了することが出来ました。日本も日に日に寒くなる季節と思いますが、体調など壊されないようお過ごしください。

例会行事

職業奉仕委員会 副委員長江頭泰利

RLI 推進委員長の周藤行則様をお招きして「RLIとは」のテーマでお話頂きます。周藤委員長は浦安RC所属で、

前年度会長を務められました。職業は動物病院の経営です。

テーマ: RLIとは

卓話者: RLI 推進委員長 周藤行則様



皆様、こんにちは。只今ご紹介を頂きましたRLI推進委員長の周藤行則でございます。所属は浦安RCで、職業分類は獣医師です。今日は、ロータリー・リーダースhip研究会(RLI)のお話をさせていただきます。今日ご出席の方でRLIに参加された方はいらっしゃいますか？飯生高一郎さん、杉晟さん、それから江頭泰利さんも資格を持っていますね。RLIにご協力頂き、どうもありがとうございます。4名の方が過去に参加を頂いているということで、是非皆様には私のお話のサポート役をして頂きたいと思ひます。RLIについてより知って頂くというのが、我々のテーマです。まずビデオを見て、RLIの雰囲気を知って頂きながら、話を進めていきたいと思ひます。ディスカッションリーダー(以下DL)役は今野前RLI推進委員長で、過去にRLIのセッションをやった時の風景です。セッションは、こんな感じでやっているというのをご覧下さい。これは「クラブを強くする」というテーマのセッションです。強いクラブを作るのに、どういう風なやり方があるかということ、皆さんで討議をしている、そんな場面であります。ご存知の方もいるかもしれませんが、千葉西RCの今野さんが、DLをやって、杉さん、江頭さんにもDLとして、皆さんのお話を聞いて頂く役割をお願いすることがあります。今日、私のミッションは、今年の2月から研究会が始まりますので、最低何人くらいの方に参加して頂けるか、最後に手を挙げて頂きたいと、そんな風に思っております。

それではこれから、パワーポイントでお話をさせていただきますと思ひます。ビデオを見て頂いて、セッションはこういう形で進んでいるんだな—というのをご理解頂けたと思ひます。それから、そもそもRLIとは、どんなものかということをお話します。RLIというのは、国内だけでなく全世界のRCの中で進めている研究部門、研究プログラムです。全世界でどんな風に進めているのか、それから日本の現状も含めてお話をさせて頂き、最後にDL資格

所有者の皆様から生の感想を伺って今日のお話とさせて頂きます。私は入会9年目になります。昨年浦安RCの会長を仰せつかりました。こんな話をすると怒られるかもしれませんが、私は入会して3年間、ほぼ何も考えずに例会に出て、昼食を食べて帰る。という生活、クラブライフを続けました。それはそれで楽しかったのですが、ちょうど4年目に幹事になる時にロータリー・リーダースhip研究会というのがあるから勉強して来いという事で参加させて頂いたのが、そもそもの出会いです。何も知らない私がRLIに参加してロータリーというのは、こういうものだということを浅く広く知る事が出来ました。皆様はもうロータリーについてよく知っていらっしゃると思いますが、より幅広くロータリーを知る事ができる、そんな研究会という風に思っています。RLIでもいろいろ議論をするのですが、これは決して研修会ではなく研究会だというのが、ミソだなと思ひています。研究会というのは、その場に参加して自分が自らラボの中で、いろんなことを語り合い、自分自身が「気付き」を持って帰ってくる。こういう場です。研修会というと、どちらかというと話を聞いて、その話に「そうだな」と思うか「そうじゃない」と思うかして、ストレスを溜めながら帰る。というのが一般的な研修会ですが、このRLIは、研究会という事ですので、先程見て頂いた様なセッションをしながらそれぞれお土産持って帰る。という事でもあります。併せて草の根運動という事で、後でお題になりますが、1992年にアメリカで始まった研究会です。よくロータリーの地区の方々が、RLIはRIのプログラムなのかどうなのか？とおっしゃり、RIが決めたプログラムであるとかないとか、ということが話題になることがあります。RIが承認して推奨をしていますが、RIのプログラムではありません。その辺が、草の根運動という、こんな呼び方に繋がるのかもしれませんが。さてRLIは、ロータリアンがロータリーへの思いを自由に語り合い、個々のモチベーションを確実に高めていく語りの場です。何回も話しますがRLIは話しに行く場です。聞いてばかりいると、どうも面白くなくて、ロータリーとは、私はこう思っている。という事を皆さんで話し合いながら、その中で「気付き」を深めていく場です。まさにここに書いてある、研修の場には違いないが、ロータリーを語ろう。という事で語り合うというのが、このRLIの特徴であります。もしかしたら、同じく感じていらっしゃるかもしれませんが、私も浦安RCの中でメンバーと話をしていると、毎回同じ話が繰り返されますが、他クラブの方と本当にフランクに会って話ができる事が、このRLIの、私は醍醐味だろうと思ひます。まさに語りの場、出会いの場ではないかと思ひます。なかなかクラブの中では、自分のクラブの言いにくい話は出来ないものがありますが、クラブの中で話せない事もRLIに来る

と「俺のクラブは、実はこうなんだよ！！」という話も、どこのクラブも良いところもあれば、悪いところもある。という話をRLIの場で皆さんと話し合いながら、「いや、そんな事言っただって、それはあなたのクラブの悪いところではなくて、ウチだってそうだよ。」という話や、やり取りが沢山出てきます。RLI参加者のゴールは、パートⅠからパートⅢまで、1日6セッション、3日間のコースで、3日間の研修、研究会に参加をして、3日出た後にどんなところを自分の落としどころにするのか、と書いてあります。私もそうだなと思います。ロータリアンとしての成長と、ローター観の確立を目指したいです。私も9年経ち、ロータリアンの成長って何か？と思ったりもします。皆様は達観されていると思いますが、私なりにまだロータリアンの成長ってなんなのかなと、いつももがいていたりします。あわせて、ローター観、多分八千代RCの中でも、ローターについて話し合う事があると思いますが、やはり入会して間もない方が考えるRCとは？それから、私もそうでしたが「入りて学び、出でて奉仕」という言葉があって、確かにローターって、皆さんと会って、色んな事を勉強して、自分の会社の経営に戻る。それで、まさに「入りて学び、出でて奉仕」これは、ローターらしい私にとっては非常に素晴らしい言葉だなあと感じる場面です。今もそう思っていますが、まさにロータリアン、ローター観というのは、会員ひとりひとりが自分にとってローターとは、こういうものだという、そのあり様を自分の中で整理していく、ということではないのかなと。ローター観の確立、何が正しいとか、何が正しくないとかいう事ではなくて、私がローターに参加をしている意味は何なのかという事を考えるきっかけになるのが、このRLIではないかなという風に思っております。今お話しをしたところがRLIとは何なのかという全体像です。

これからは、RLIの歴史についてお話したいと思います。先程ビデオにもありましたが、1992年アメリカ、ニュージャージー州の元RI理事、リンネットさんという方が発案して始められた多地区の草の根連合組織、という事になっています。1992年(平成4年)はまさにバブルがはじけて、護送船団である日本の金融会の形が変わっていくという時代でした。まさに世界のローターも、1905年にポール・ハリスが始めて、どんどんどんどんクラブの数が多くなり会員数が増えていきましたが、ある時点から会員数が増えない。むしろ、例えばアメリカにせよ、日本にせよRCの会員がどんどん減ってしまうという時期を迎えました。多分その中で今RIが推奨するDLP、CLP、それから未来の夢計画、という戦略計画が出てきたのだらうという風に思います。私も経営しているのですが、組織が常に成長する為には、どこかで変革をしていかなければならない。基本的には社交的な色合いでやって

いたRCの組織が、社交クラブだけでは成長していけないという思いの中で、RIが色々なプログラムを考え、色んな仕組みを作ってきたのでしょ。それがまさに戦略計画であり、DLP、CLPにつながる。まさに、そういう時期を同じくして、わが社でもリーダーシップはRLIのあり方なのです。日本でもそうだと思います。「俺について来い」というリーダーシップのあり方は、もう通用しなくなりリーダーシップの取り方がどんどん変わっているのだと思います。そういう中で、何をもってリーダーシップと呼べるのか？当時、企業組織でいうとコーチングとか、あるいはファシリテーションという様な、みなで話し合いながら、その中で合議でテーマを見つけていく。そして組織が進んでいく。そんな流れが1992年だったんだろうと思います。そういう時代にリンネットさんという方が、このRLIを始めたというところ。そして1992年から27年経ち、世界420地区、それから日本の24地区のRCが、このRLIを取り入れています。全世界532地区のうちの420地区ですから、8割以上の地区が、もう始めています。国内、第2790地区も始めて10年になりますが24地区です。3年前まで14地区だったのです。第2790地区は、ある意味では「これは、なかなか面白いぞ。」あるいは、これは何かの役に立ちそうだということで、国内の地区が俺の地区もやると、手を挙げてこの3・4年で20地区位増えています。これからの地区も、また増えるといひます。

最後に、カリキュラムは、こうだという話をします。これはなんとか行けそうだな、という感じで広がっているように思いますし、自ら推進、実行、実践側としてお話をさせていただきます。浦安クラブは7名くらいの参加者がいて、資格をもっている人も5・6人います。少しずつ例会のやり方も含めて、ローターの形をこういう手法をもって変えていくのもいいのではないかと波のような気が致します。第2790地区のRLI、2010-11年、亡くなった織田PDGの時から始まっています。そして今年が丁度10年という事になっております。RLIを推進する側からいうと10年の節目に、もうワンステップ次のステージに上げていこうと、こんな風に考えているところです。第2790地区では、参加者434名のうち地区内が358名とあります。実は評判が良いのかどうか分かりませんが、他地区から第2790地区のRLIに参加する方がいます。東京の地区でも、やっと始まったところもありますので、そういう他地区の方が結構参加をされています。パート修了者154名、そしてDL資格を持っていたらっしゃるのが160名。杉さん、江頭さんも資格をお持ちです。是非、皆様にも資格をお取りいただけるように頑張ってもらいたいと思います。資格をとる事が目的ではありませんが、長くRLI活動に参加を頂きたい

と思っています。第 2790 地区は昨年度 10 年目という節目を終えたところです。推進委員会は、第 2790 地区に RLI をいかに普及するか、RLI をいかに実践するか、この二つがテーマです。今日はどちらかという普及員という事で、この後「行ってみようかな」という気持ちになって頂く方が多ければ多いほど、普及員としての使命を果たせたという事になりますので、是非、来年御参加頂きたいと思ひます。

次に、参加者推移、参加比率 20%以上クラブ、参加者比率 10%以下クラブの表をお見せします。第 2790 地区は 83 クラブあり、17 のクラブはまだ参加を頂いた方がいません。そういう現状なので普及担当として、まだ参加されていないクラブの方になんとか参加を頂けるように普及をしていきたいと考えています。さて、ここからはロータリー、RLI とは何をするのかをお話したいと思ひます。RLI の研修スタイルはファシリテーションで講演型ではなくて参加型です。いかにファシリテーションが学習に効果的かがわかります。RLI カリキュラムの 3 本の柱ですが、このプログラムは、パートⅠからパートⅢまで、基本的には全世界同じカリキュラムで研究会を進めています。パートⅠ、パートⅡ、パートⅢとあり、パートⅠは「ロータリアンとしての私」というテーマ。パートⅡは「私たちのクラブ」というテーマ。パートⅢは「私のロータリーの旅」というテーマです。1～3 回目、それぞれテーマが違います。杉さん、江頭さんには、DL として最初に 2 月 1 日に御参加頂いて、最初のセッション「ロータリーにおけるリーダーシップ」から始まりますのでご協力よろしくお願いいたします。ここにリーダーシップと奉仕と、会員組織の強化、組織とリーダーシップと奉仕、この 3 つが、リーダーシップのテーマ、奉仕に関するテーマ、そして組織機構に関するテーマというのが、1～3 回目のなかにうまく織り込まれています。1 回目はロータリアンとしての私。自分自身にとってのロータリーは、どういう風に考えるべきか、ということをやテーマに進めていきます。パートⅡでは、先ほどのセッションのうちのひとつ、クラブをどう強くするか、自分たちのクラブがどうあったら良いのか。ということをやテーマにして話し合います。そしてこのパートⅢはテーマ付けも面白いと思うのですが、私のロータリーの旅です。ロータリーには卒業がないと言ひますので、これから 10 年、15 年、20 年、30 年とロータリーの旅を続け

ながら、どんな風に自分としてのロータリー観を高めていくか。そんなことをテーマに、このパートⅢの内容がつくられています。日本の場合には、米山奨学制度のことも出ていて、地域ごとの特性を反映したカリキュラムができています。なかなか大変ですけども、参加することに意義があつて、なんでもロータリーの事がわかってきますので、皆さん、是非参加して下さい。RI 元会長、ウィリアム・R・ロビンスさんは、ロータリーは成人教育の最もすぐれた実験場である。ロータリーの第一の目的は、親睦と奉仕を通して人を育てることである。クラブの価値は、そのクラブがいかなる人材を育てたかによって計られる。それ以外の何があるであろうか。とおっしゃっています。私も、そうだなあと少しずつ思うところでありまひす。RLI、ロータリー・リーダーシップ研究会のお話をさせて頂きました。冒頭お話ししたように、より多くの皆さんに参加頂いて、そこで「気づき」を得、そしてクラブへ持ち帰り、クラブの活性化に繋げて頂ければ、幸ひであります。本日は、御静聴ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ致します。

謝 辞 副会長 飯生 高一郎

周藤様、本日は大変貴重なお話を頂き、有難うございました。会員の皆さまも積極的に研究会にご参加頂ければと思ひます。

ニコニコ BOX～ ￥44,000-

☆RLI 推進委員長周藤様
卓話よろしくお願い致します。
日下部・中村・稲山・三井・杉山・浅野正敏
君塚・上代・宮野・池田・江口・遠藤・風間
花島・佐々木・菊川
☆明けましておめでとうございます。谷田貝
☆正幸さんホールインワン達成
おめでとうございます。齋藤敏夫・小村
☆米山奨学会でお手数かけました。佐久間

～友愛 BOX～ ￥19,000-

☆周藤委員長卓話よろしくお願い致します。
江頭・飯生・中島貞好・山浦・朝戸・寺沢
☆寒いですね。コタツが懐かしいよ！ 古川
☆少し元気が出て来た様です。 渡邊
☆前回欠席しました。 石渡
☆平安時代に遡る年賀状は日本の美風です。良き形式にして伝承しよう。 佐野

近隣クラブ例会日		例会場				
火曜日	四街道 R.C	四街道ゴルフクラブ	1 / 20	5 3	5 0	4 4
火曜日	八千代中央 R.C	ウィシュトンホテル・ユーカリ				
水曜日	習志野 R.C	習志野商工会議所会館				
水曜日	佐倉中央 R.C	第 1 ウィシュトンホテル・ユーカリ第 3 夜間オリベート				
木曜日	佐倉 R.C	フランス料理 シェ・ムラ				
木曜日	習志野中央 R.C	習志野商工会議所会館				

■クラブ広報委員会 委員長：田村隆治 副委員長：久土地 剛
■出席委員長 山浦恭宏※欠席の際は必ず火曜日迄に出席委員長に連絡して下さい
■例会日 金曜日 12:30～13:30
■例会場 パッツ・ノヴィータ (〒276-0049 八千代市緑が丘 1-1-1 公園都市プラザ 1F)